

総務文教常任委員会

委員長 基一 小林
副委員長 健二 原口
委員 男 富美 松本
勝 美 勝 田
吾 信 富岡
子 智 大 山
淳 美 智 守 屋

平成25年度熊谷市一般会計予算(教育費・消防費)について

問 登校支援推進事業について、事業の詳細を伺いたい。

答 登校が難しい児童生徒に対して学校適応指導教室、さくら教室において教育相談指導員3名が対応し、学校や関係機関との連携を通して教育相談を行い、悩みや不安を取り除き、集団生活への適応力を養ったり、学習の遅れに対する学習支援をしたりするなど、児童生徒の自立と学校生活への適応を図り、学校復帰を目指すものである。(所管課・学校教育課)

問 熊谷市スポーツ・文化村条例について

問 宿泊施設について、宿泊は何人から受け付けるのか。また、昼食提供について、昼間の練習に来ている人たちにも昼食の提供を考えているのか。練習とは関係ない市民の方も食堂を利用できるのか、

伺いたい。

答 宿泊については、県内の施設も参考にして5人以上ということと考えている。また、昼食の提供については、総合管理委託の一環として民間の事業者を入れて提供するということを考えており、市民の方についても食堂の利用は可能である。(所管課・社会教育課)

財産の取得について

問 化学消防ポンプ自動車に積載している泡原液量500リットルでの放射時間はどのくらいか。また、市内の危険物施設の数と、それに必要な化学消防ポンプ自動車の数について伺いたい。

答 放射時間は通常30分から40分である。また、熊谷市内の危険物施設は全部で754施設あり、このうち化学消防ポンプ自動車の必要台数の算定に該当するのは356施設で、必要台数は1台である。(所管課・警防課)



福祉環境常任委員会

委員長 新一 森
副委員長 三千夫 黒澤
委員 清 次 新井
昭 衛 新井
和 一 松岡
郎 市 三浦
和 浩 松本
大 嶋

熊谷市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

問 『共同生活介護または共同生活援助』を『共同生活援助』に統合することだが、具体的には何か変わることがあるのか伺いたい。

答 『共同生活介護』は、ケアホームにおいて世話人等の介護や支援を受けながら共同で生活するサービスであるのに対し、『共同生活援助』は、グループホームにおいて世話人等の相談や日常生活の援助を受けながら共同で生活するサービスである。実態としては明確な違いがないこともあり、実態に合わせ、統合を図る法律改正がなされたものである。(所管課・障害福祉課)

問 熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について

熊谷市の3施設の中で働いて

いる職員で、今回の定める資格を持っているのは何人か伺いたい。

答 技術管理者の資格を有している職員数は、第一水光園に6名、荒川南部環境センターに2名、一般廃棄物最終処分場は委託業者の中に1名である。(所管課・環境衛生課)

平成25年度一般会計予算(民生費・衛生費)について

問 民間保育所補助事業について、民間保育所24カ所への補助を市単独で行っている理由について伺いたい。

答 国、県が民間保育所にその運営費等を補助しているが、保育の充実を図るためには、補完して補助する必要があるという認識のもと、市として補助金を交付するものである。(所管課・保育課)



市民産業常任委員会

委員長 照久夫
 副委員長 久夫
 委員 野澤 健昇
 栗原 修
 磯崎 修
 桜井 修
 松浦 修
 山田 修
 林 修

平成25年度熊谷市一般会計予算(商工費)について

問 中心市街地活性化まちづくり会社業務支援事業に関して、まちづくり会社の主な業務内容について、伺いたい。

答 まちづくり会社の主な業務は、現在の低利用の不動産を、所有と利用を分離して活性化をさせることであり、定期借地で賃貸を活性化させる仲介業務をまちづくり会社が進めていくことが主要事業の一つである。また、ソフト事業としてモール委員会というような人の連携組織を想定しており、その事務局としての業務が2点目の重要施策である。

(所管課・商業観光課)

平成25年度熊谷市国民健康保険特別会計予算について

問 特定健診の受診率を上げるために、医師会から提案された内容について、伺いたい。

答 医師会から健診内容が不十分という意見があったため、医師会と相談し

て平成23年度には貧血検査と心電図血清クレアチニン検査を追加し、平成24年度には尿酸検査を追加した。

(所管課・保険年金課)

「国に対し『年金2.5%削減中止を求める意見書』の提出を求める請願」について

主な意見

・年金が10年以上前からもらい過ぎだとしているが、当時から10年間で実際に年金は下げられている。高齢者にとって、介護保険料や医療保険税の値上げ、また毎日消費する食料品や日用品の値上げは大きな負担である。高齢者は年金が頼りで暮らしている。請願に賛成させていただく。

・少子高齢化が進み、人口構造、社会構造が変化する中で、それに応じた持続可能な制度がつくられていない。現状のまま今の社会保障制度を続けることは、将来の世代に負担を押しつけることになる。責任のある政治を行うっていくうえで、本来の導入目的にあわせて物価にスライドしていくべきである。この請願に反対をさせていたたく。

都市建設常任委員会

委員長 一貫
 副委員長 高広
 委員 野開 秋延
 賀崎 宣実
 須永 茂生
 杉田 弥厚
 関小 池

平成25年度熊谷市一般会計予算(土木費)について

問 公園施設長寿命化計画策定事業について、「公園施設長寿命化」という具体的な定義があるのか伺いたい。

答 都市公園施設について老朽化に対する安全対策の強化及び補修、更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持保全等の予防安全等の管理のもとで既存ストックの長寿命化計画を策定するというものである。

(所管課・公園緑地課)

問 通学路交通安全対策事業について、通学路のカラー舗装や区画線を引くという説明があり、今年度もそれは実施されていると思うが、今年度の積み残した分としてこれを行うのか、今年度行った上にさらに質を上げる形で実施するのかわかっていますか。

答 実施方法について、当事業は市内を6ブロックに分け、各ブロックに4校から5校が含まれるが、平

成24年度に事業着手した時点では、その各ブロックで一番危険性が指摘をされた学区について集中的に安全対策を講じてきた。そのほかの学校についても、おおむね200メートルから300メートル程度の外側線とグリーンベルトの設置を行った。平成25年度については、各ブロックの2番目に危険度が指摘をされた小学校について集中的に整備を行い、ほかの学校についても、昨年度より予算が増額したこと

から、200メートル、300メートルということではなくて、より厚い安全対策が可能かと考えている。

(所管課・維持課)

平成25年度熊谷市水道事業会計予算について

問 賃借料について、「AED借上料」というのは前回なかったと思うが、これについて伺いたい。

答 水道部にはAEDを設置していなかったが、来客等も多いということと、ぜひ設置したいということとで予算計上した。